

255

参考例

25年度事業報告書  
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

特定非営利活動法人みんなの手

1 事業の成果

高齢者から直接の依頼だけでなく、ケアマネージャーや地域包括の方からのご依頼もあり、喜ばれました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施	実施	従事者	受益対象者	支出額
便利屋事業	買い物代行や草抜き等	随時	福山市近郊	3人	8人	0円

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(円)

25年度   会計 財産目録  
26年3月31日現在

特定非営利活動法人みんなの手

科 目 ・ 摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	21,600	
普通預金	〇〇銀行〇〇支店	×××	
未収入金			
未収会費	〇年度会費 〇名分	×××	
.....		×××	
流動資産合計		21,600	
2 固定資産			
土地	〇〇平米	×××	
建物	〇〇平米	×××	
什器備品			
パソコン		×××	
.....		×××	
.....		×××	
固定資産合計		×××	
資産合計			21,600
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
短期借入金	〇〇銀行〇〇支店	×××	
預り金	職員に対する源泉 所得税	×××	
未払金	職員給与 〇月分	×××	
.....		×××	
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	〇〇銀行〇〇支店	×××	
退職給与引当金		×××	
.....		×××	
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			21,600

注2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。  
 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合に  
 あっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別の用紙で作成してください。

25年度  会計貸借対照表  
26年3月31日現在

特定非営利活動法人みんなの手

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	×××		
未収入金	×××		
.....	×××		
流動資産合計		21,600	
2 固定資産			
土地	×××		
建物	×××		
什器備品	×××		
.....	×××		
固定資産合計		0	
資産合計			21,600
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
短期借入金	×××		
預り金	×××		
未払金	×××		
.....	×××		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	×××		
退職給与引当金	×××		
.....	×××		
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		15,100	
当期正味財産増加額(減少額)		6,500	
正味財産合計			21,600
負債及び正味財産合計			21,600

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

25年度  会計収支計算書

25年4月1日 から 26年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなの手

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 収入の部			
1 入会金・会費収入			
入会金	× × ×		
会費	× × ×	× × ×	
2 財産運用収入		× × ×	
.....			
3 事業収入			
便利屋事業収入	6,500		
〇〇事業収入	× × ×		
.....	× × ×	× × ×	
4 寄付金収入		× × ×	
5 その他の事業会計からの繰り入れ		× × ×	
6 .....		× × ×	
当期収入合計(A)		6,500	
前期繰越収支差額		15,100	
収入合計(B)			21,600
II 支出の部			
1 事業費			
〇〇事業費	× × ×		
〇〇事業費	× × ×		
〇〇事業費	× × ×		
.....	× × ×	× × ×	
2 管理費			
・給料手当	× × ×		
・交通費	× × ×		
・通信費	× × ×		
・消耗品費	× × ×		
・水道光熱費	× × ×		
.....	× × ×	× × ×	
3 .....		× × ×	
4 予備費		× × ×	
当期支出合計(C)			0
当期収支差額(A) - (C)			6,500
次期繰越収支差額(B) - (C)			21,600

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

注3 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る事業会計収支計算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰出繰入が明らかになるような科目を追加し、経理する必要があります。